

(伊) デロンギ社製

オイル密閉式 ラジエーター型ヒーター

Mod.R910912CF

取扱説明書



このたびは、デロンギヒーター
Mod.R910912CF をお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 5
知っておいていただきたいこと	5
各部の名称とはたらき	6
操作手順	7 ~ 8
ヒーターの上手な使い方	9
故障かな?	10
修理を依頼される前に、 以下の点をお調べください	11
これは故障ではありません	11
お手入れ／保管のしかた	12
真心点検について	12
アフターサービス	13
デロンギ・エコカバーの使い方	14
仕様	14

★キャスター（折りたたみ式）

折りたたみ式なので、使用時は必ず開いてください。(6ページ参照)

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



： 発火注意



： 感電注意



： 高温注意



： 禁止行為



： 分解禁止



： 強制／指示



： 電源プラグをコンセントから抜く

電源について

⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流 100V/50-60Hz をご使用ください。
- 電源は「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。



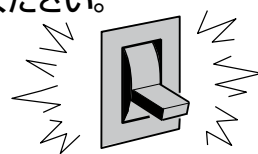
15A 125V



⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

※詳しくは、5ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



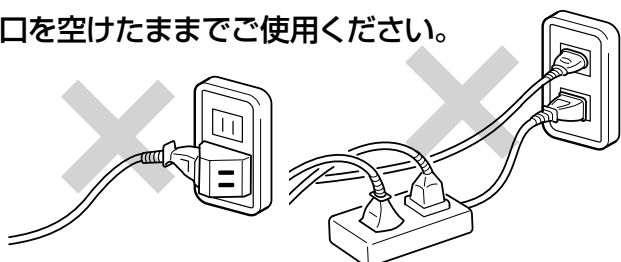
コンセントについて

⚠️ 警告

- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。
- コンセントは本製品だけ（単独）で使用し、差込み口が2つある場合は片方の差込み口を空けたままでご使用ください。

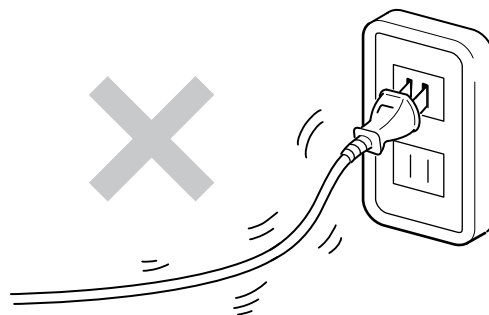


コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



- 取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

感電や発熱の恐れがあります。

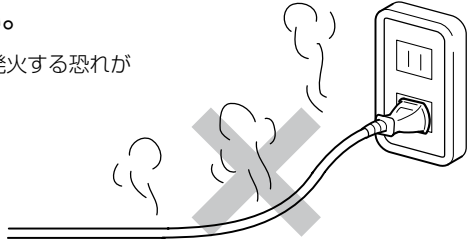


電源プラグ／電源コードについて

警告

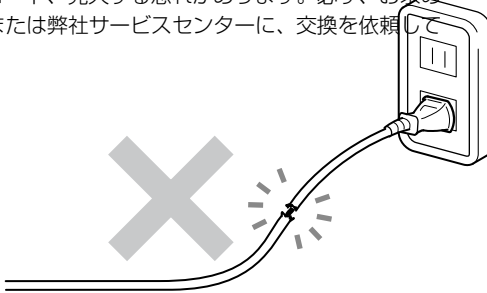
- ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



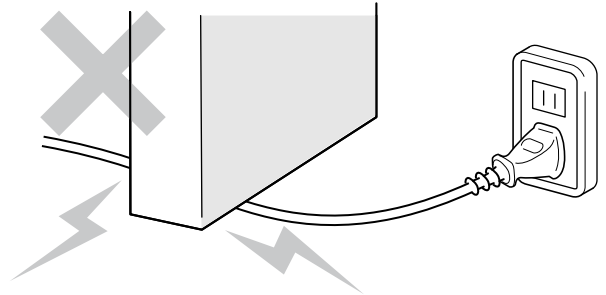
- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



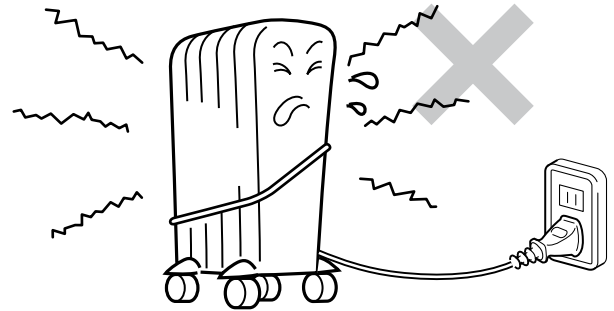
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



注意

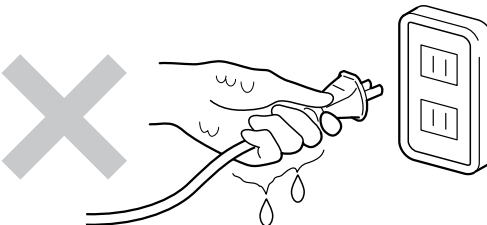
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



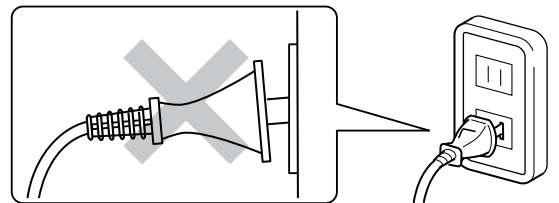
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



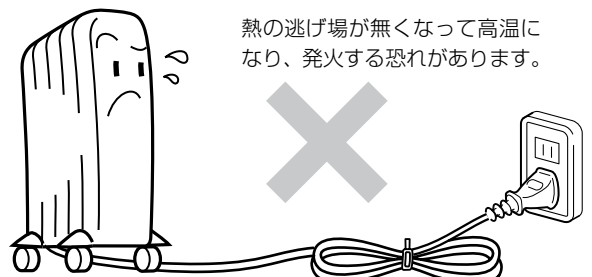
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



- 運転の際は、電源コードをコード・ホルダーから解き、余っても束ねないでください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



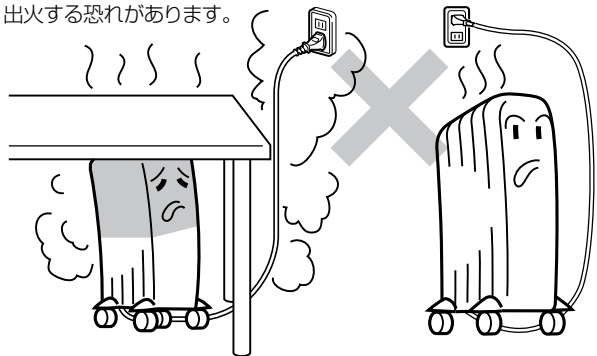
設置場所について

⚠ 警告

- テーブルや机、電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。



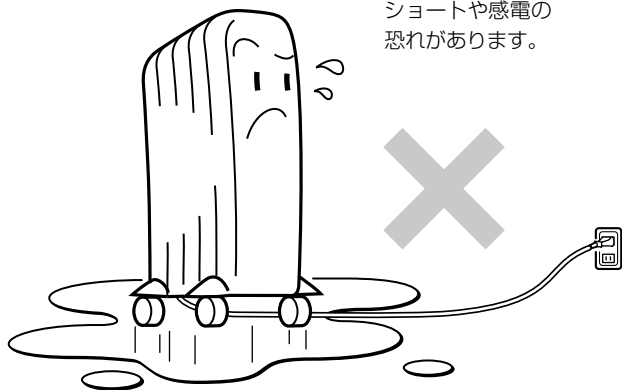
ヒーターの上部をふさぐと、空気の流れができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



- 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）でのご使用は、お止めください。



ショートや感電の恐れがあります。

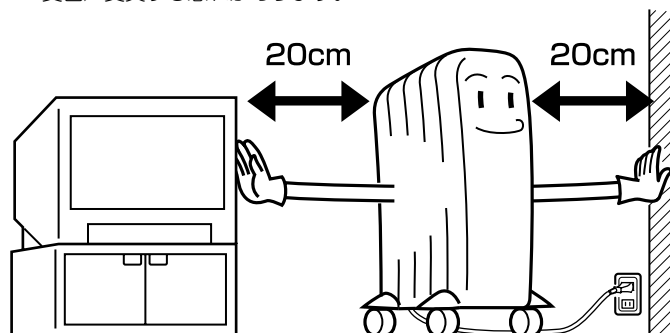


⚠ 注意

- 家具や壁、カーテン、電源をとるコンセントからは、20cm 以上離してください。



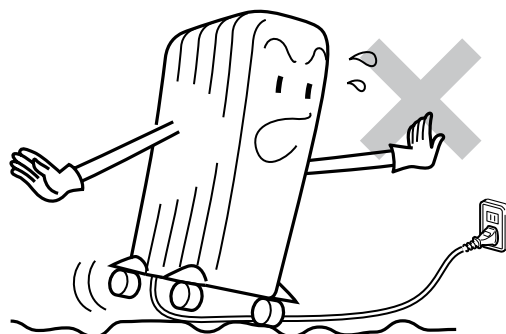
材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。



ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。

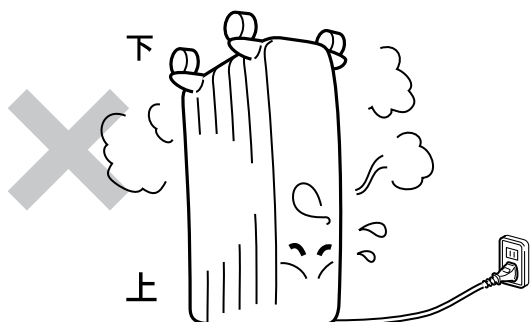


使用する際の注意

⚠ 危険

- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

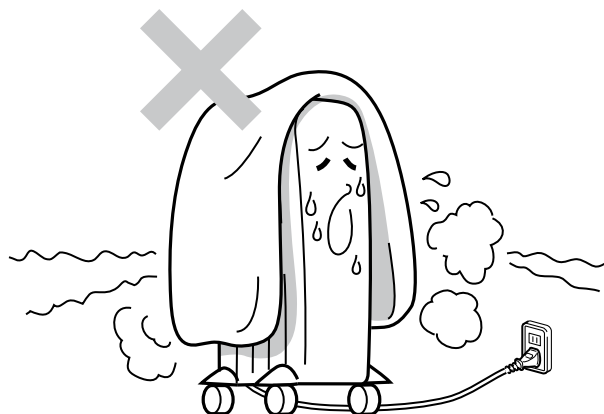
火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。



過熱により、火災や故障などの恐れがあります。

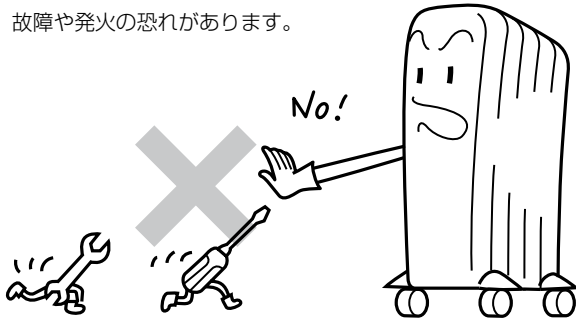


使用する際の注意

⚠ 警告

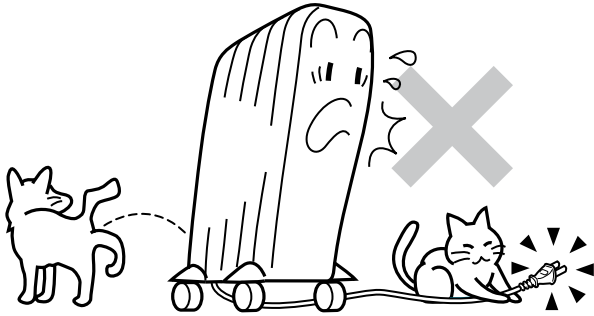
- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



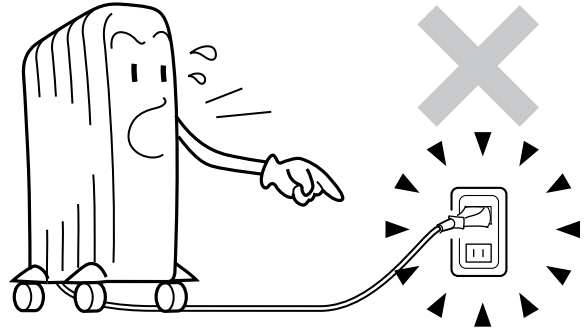
- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。(14 ページ参照)

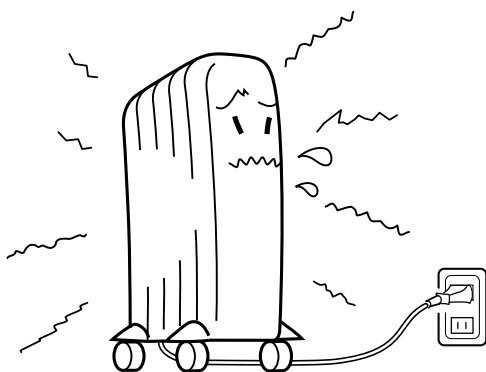


運転中の注意

⚠ 警告

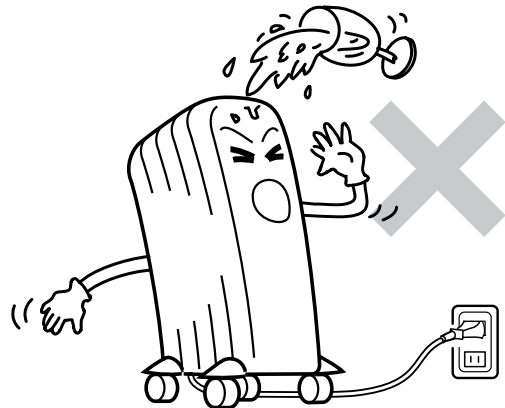
- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）までご連絡ください。



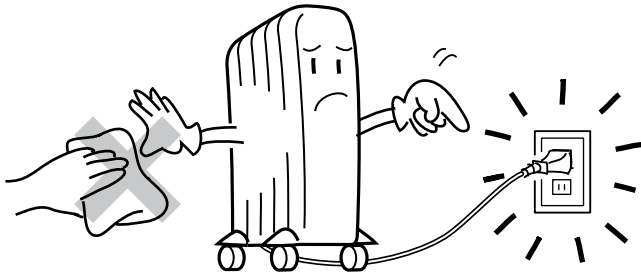
- 本体や操作部（電力切替えスイッチ、タイマー、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。

万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（13 ページ参照）までご連絡ください。



警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



- 絶対に、水に浸したり、水洗いをしないでください。

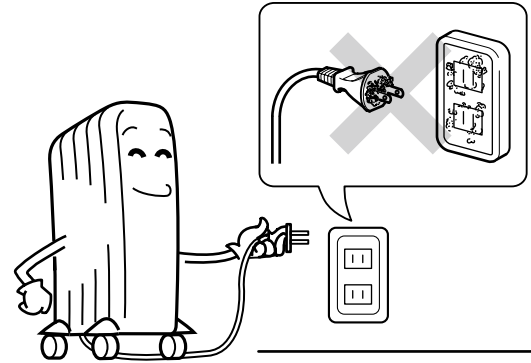


注意

- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。



付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、12A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていない

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

1時間当たりの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（建材や位置など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

電源を入れてから 30分～1時間 (消費電力は最大)	室温が適温に達した後 サーモスタットで調節 (ヒーター稼働率が60%の場合)
約26円/時間	約16円/時間

各部の名称とはたらき

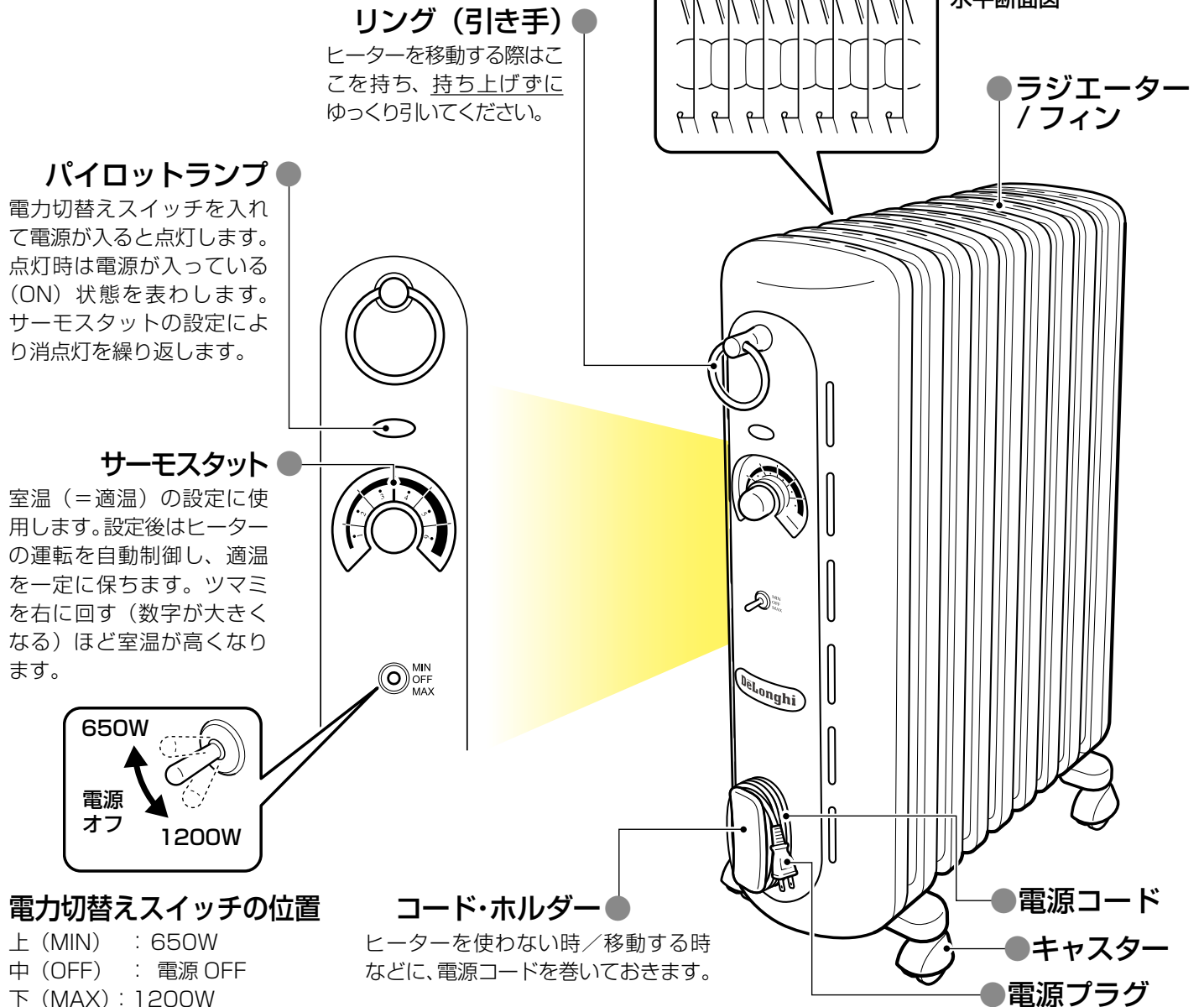
付属品：デロンギ・エコカバー

ヒーターを移動する際にご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（※）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、L字型フラットフィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。

★オイルの補充・交換は不要です。

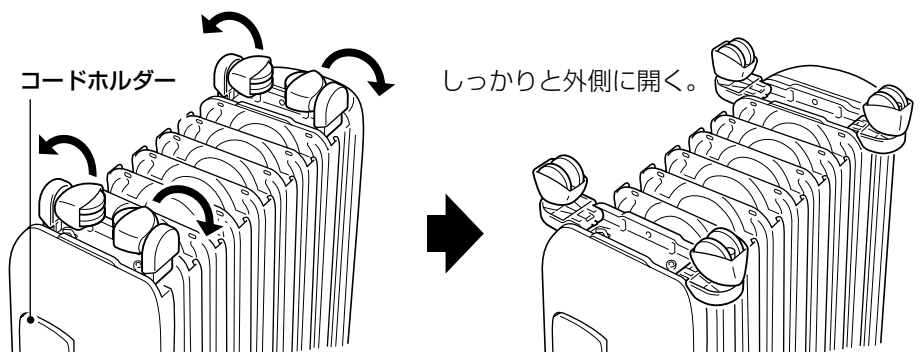


折りたたみ式キャスターの開きかた

折りたたみ式キャスターを開く手順

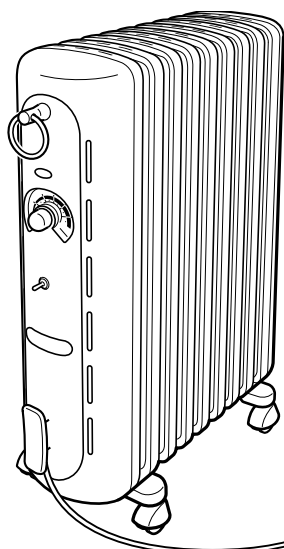
- ① ヒーターを、底部を上にして仰向けにします。
- ② すべてのキャスター（車輪×4）を、しっかりと外側に開きます。
- ③ ヒーターをゆっくりと起こします。（完了）

※この図は、本体を仰向けにした状態です。



操作手順

1

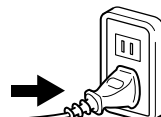


電源プラグをコンセントに差し込む

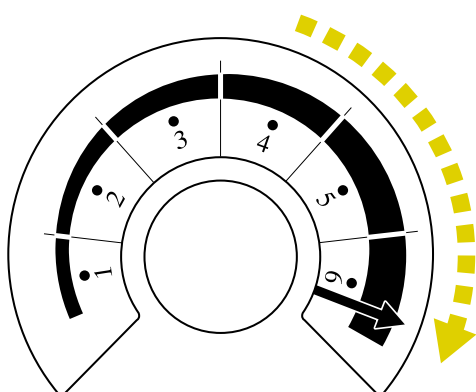
電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

⓪延長コードは絶対に使用しないでください。

電源コードは、伸ばした状態でご使用ください。



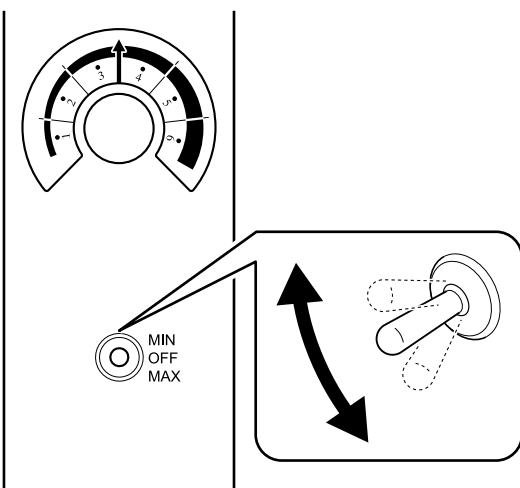
2



サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのツマミを右いっぱいに最大目盛まで回し、出力レベルを最大にセットします。

3



暖房運転を開始する (電源を入れる)

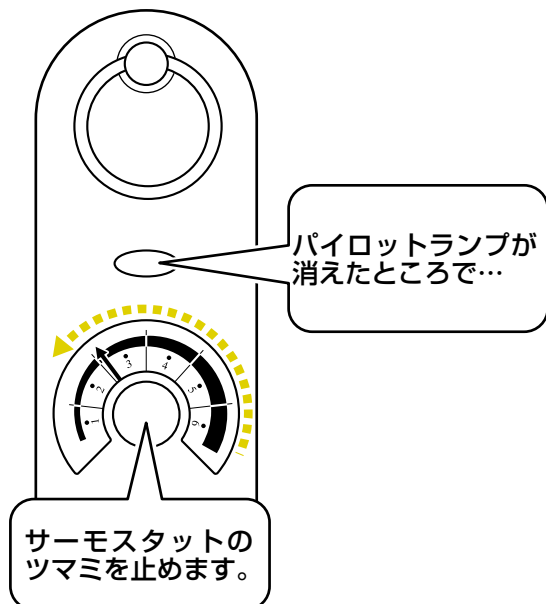
電力切替えスイッチを上にする、または下によります。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを下に下げ、電力を強（1200W）にしてください。

電力切替えスイッチの位置とヒーター稼働状況

上 (MIN) : 650W
中 (OFF) : 電源 OFF
下 (MAX) : 1200W

比較的暖かい日にご使用になる場合は、電力切替えスイッチを 1200W ではなく 650W に設定し、エネルギーの消費をひかえましょう。

4

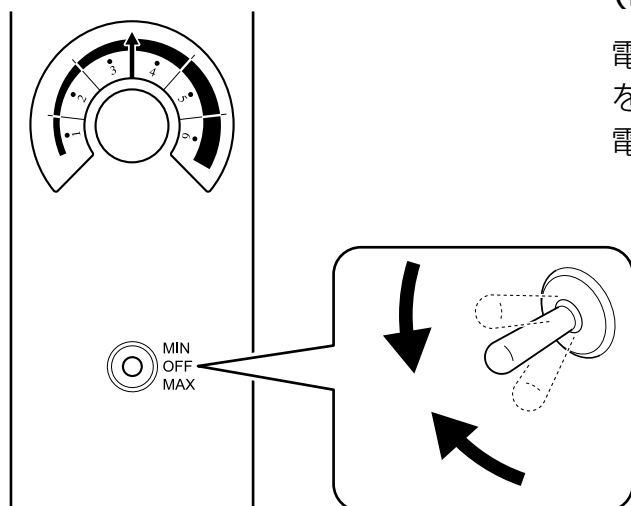


サーモスタットを設定する

お望みの温度（＝適温）になったら、サーモスタットのつまみをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源のON/OFFを繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

※適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。

5



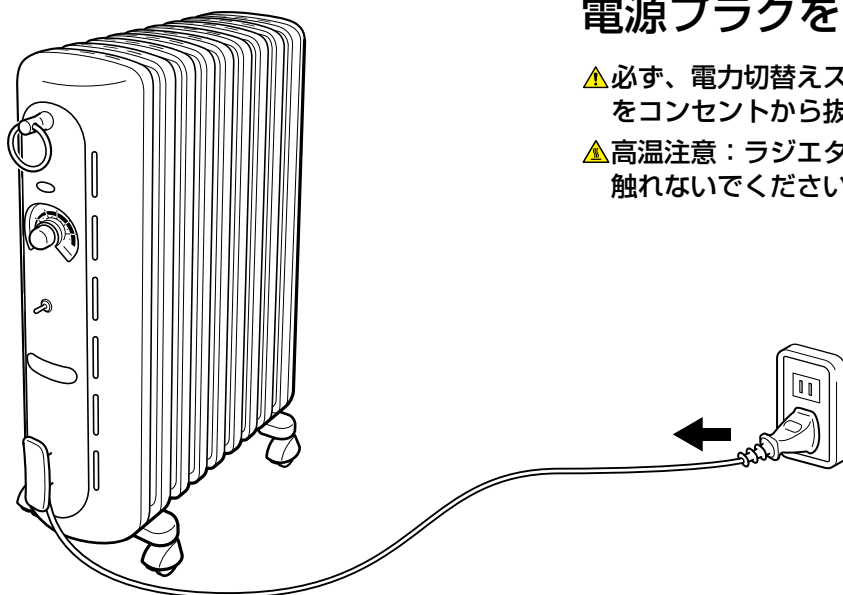
暖房運転を停止する

（電源を切る）

電力切替えスイッチを中央の位置に戻して、電源を切ります。

電源を切ると、パイロットランプが消灯します。

6



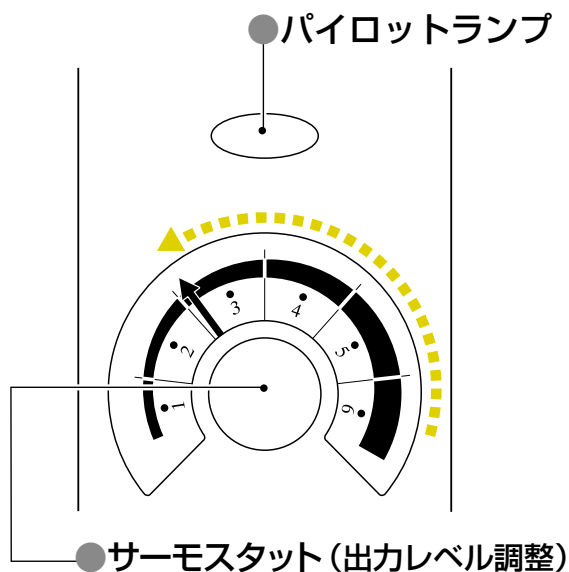
電源プラグをコンセントから抜く

⚠必ず、電力切替えスイッチを OFF にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠高温注意：ラジエターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

ヒーターの上手な使い方

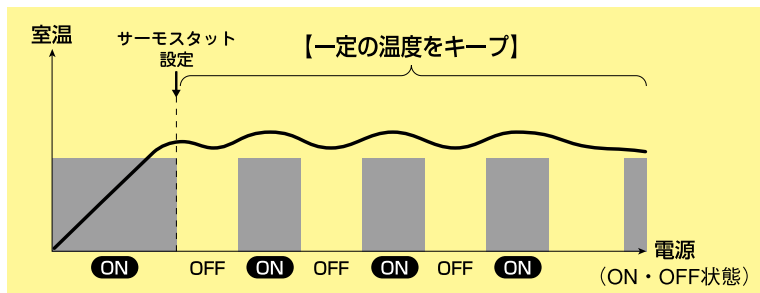
サーモスタットを使おう



デロンギヒーターには、電源の ON と OFF を自動的に繰り返すことで好みの室温を一定に保つ、サーモスタットが付いています。

少し暑いくらいに暖かい…そんな状態で使っていると、電気代もかかってしまいます。サーモスタットを上手に使って、ムダな暖めすぎを防ぎましょう。

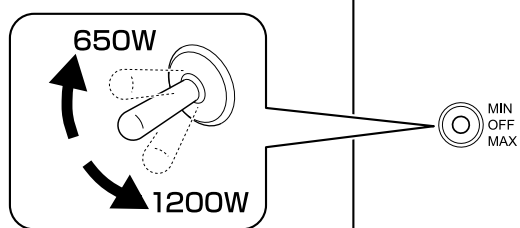
どうやって温度を一定に保つのかというと…



お部屋が適温になったと感じたら、電源ランプが消えるポイントまでダイヤルを戻します。

電力切替スイッチを活用

電力切替スイッチ



	650W	1200W
電気代	約 14 円	約 26 円

※ 1 時間あたりの最大電気代。1kW/ 時の電気代を 22 円で算出した場合。

デロンギヒーターは 650W・1200W の電力切り替えが可能です。

必要に応じて（あるいは季節にあわせて）、電力スイッチを切り替えて使うのが経済的です。サーモスタットと同様に、暖め過ぎのムダを省くためにも、電力切り替えを利用しましょう。

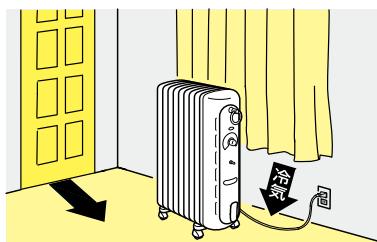
必要に応じて電力を切り替えて使えば経済的です。

せまいお部屋や、秋口、春先のように外気温があまり低くない場合は、650W でも暖房効果が得られます。

効果的な設置場所

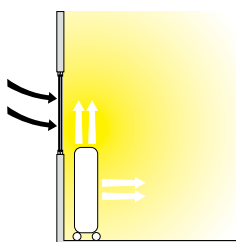
温風で強制的に暖める暖房とは違って、輻射熱でじっくり穏やかに暖めるデロンギヒーターの場合、どこに設置するかということと、ちょっとした工夫で暖房効果がかなり変わってきます。

部屋の中でも、熱の逃げやすい窓際や外気に触れている壁にデロンギヒーターを置いてください。



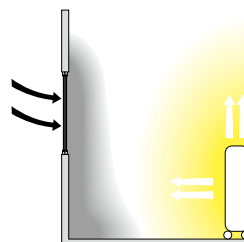
デロンギヒーターの熱で冷気をブロックし、暖房効果を高めることがポイントです。

良い例 窓際に置く



お部屋をムラなくあたためる

悪い例 窓際に置かないと…



窓際から室内に冷気が侵入し、温度ムラがしやすい

その他の工夫

厚手で長めのカーテンを引く。ドアの開閉頻度を減らす工夫で、効果的な暖房が得られます。

故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを中央の位置に戻して電源を切り(＝運転を停止し)、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は13 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを上 に上げる、または下に下 げてパイロットランプは点 灯せず、ヒーターも暖か くならない	電源プラグが、コンセント に差し込まれていない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりとコンセント に差し込みます
	サーモスタットの出力レ ベルが低い	サーモスタットのつまみを、パイロットランプが点灯す るまで右(時計回り)に回します。お望みの温度(適温 と感じられた温度)になったら、つまみをゆっくりと左(反 時計回り)に回し、パイロットランプが消えたところで 止めます。
		サーモスタットの目盛を今より大きい数字に合わせます
電力切替えスイッチを上 に上げる、または下に下げ ると、パイロットランプは点 灯しないがヒーターは暖か くなる	パイロットランプが故障し ている可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター(13 ページ 参照)にご連絡ください
サーモスタットを設定した 後、長時間(2 時間以上) 使用しても、一度もパイロ ットランプが消えない	サーモスタットが故障して いる可能性あり	サーモスタットのつまみを、パイロットランプが消えるまで 左(反時計回り)に回してみます。止るまで回してもパイロ ットランプが消えない場合は、お求めの販売店または弊社サ ービスセンター(13 ページ参照)にご連絡ください
使用中、電源プラグ／電源 コードが異常に熱く(＝約 40℃以上に)なる	延長コードを使ったり、タ コ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A 以上の壁面コンセントに直接差し込みます
	電源プラグ(栓刃)を、根 元までコンセントに差し込 んでいない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりと差し込みます。 不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります
	差し込み口(刃受)が2 つ あるコンセントで、両方の 差し込み口を使用している	差し込み口(刃受)が2 つある壁面コンセントを使用する 際は、必ず、片方の差し込み口を空けておきます
	コンセントがガタついたり、 差し込み口(刃受)がゆるい	近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。 コンセントが老朽化している場合があります
	電源プラグ／電源コードが 傷付いたり、変形・破損し ている	お求めの販売店または弊社サービスセンター(13 ページ 参照)に、交換を依頼してください
	電源コードの上に物を置い たり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の 恐れがあるので、絶対に止めてください
	電源コードをコード・ホル ダーから解いていない。束 ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。 束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れ があります
	電源プラグやコンセントに、 ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてくだ さい

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（建材や位置など）によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのツマミを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください
	電力切替えスイッチが上（MIN）の位置にある	電力切替えスイッチを下に上げて、電力レベルを最大（MAX）にしてください
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じる場合があります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

パネル内の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットが、自動的に電源を ON / OFF する際のものです。故障ではありません。

お手入れ／保管のしかた



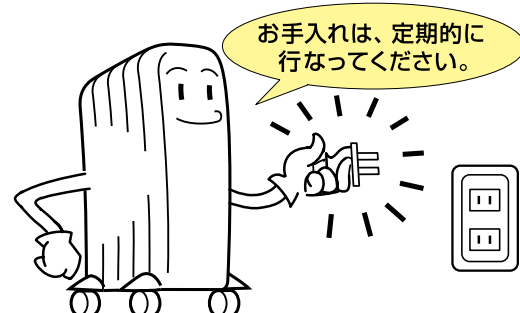
お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。



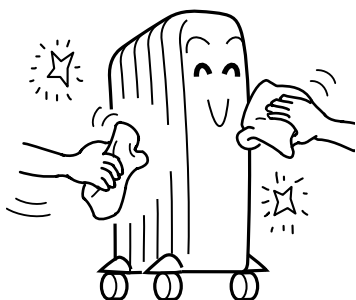
水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。



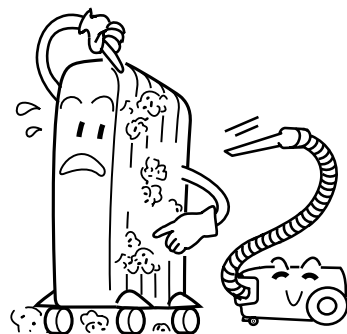
保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



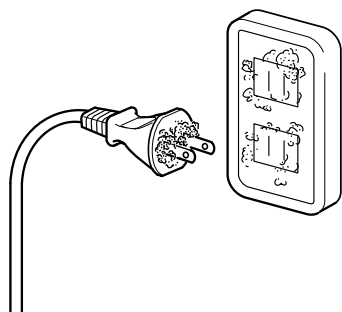
- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



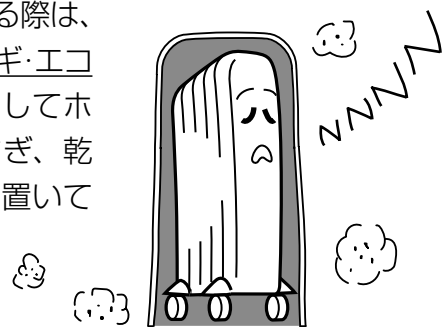
- 本体および壁と床とのすき間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



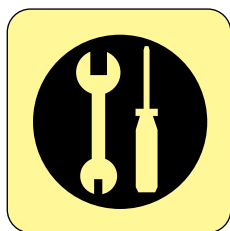
- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 収納／保管する際は、付属のデロンギ・エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。

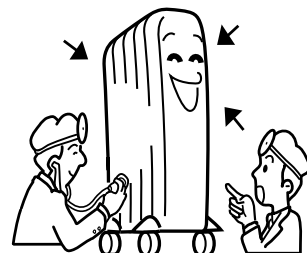


真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（持込み）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（13 ページ参照）までお問い合わせください。



アフターサービス

- 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、10 ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

-----<★以下のような場合には、点検および修理が必要です>-----

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・操作パネルや放熱板に、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式（Mod.）番号 ③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。
※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いします。
- 保証期間中（3 年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

- 横浜：〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫（株）内 4 号ビル

修理について **Tel.0120-804-280** / **Fax.045-450-3291**
お問い合わせ **Tel.0120-064-300**

- 大阪：〒 564-0044 大阪府吹田市南金田 2-21-25

修理について **Tel.0120-692-885** / **Fax.06-6368-2881**
お問い合わせ **Tel.0120-692-880**

ホームページでのお問い合わせ（URL）—— **<http://www.delonghi.co.jp>**

デロンギ・エコカバーの使いかた

1) ホコリよけのカバーとして: シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

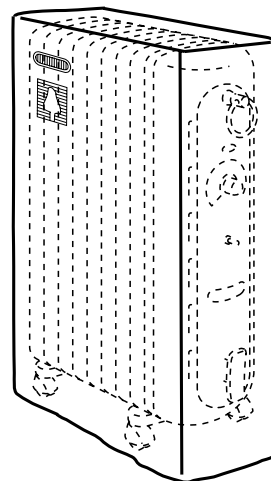
2) ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として: デロンギヒーターに使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。



その際は、下記の要領に従い、弊社サービスセンター（13ページ参照）までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のものでも梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿 100%で出来ています。

仕 様

製 品 名 称		デロンギヒーター L字型フラットフィン
型 式 番 号		R910912CF
適 用 畳 数		3～8畳
定 格	電 圧／周 波 数	交流 100V／50-60Hz
	消 費 電 力	650・1200W
外 形 寸 法／重 さ(※)		長さ 49.0 × 幅 24.0 × 高さ 65.5 cm／14.9 kg
安 全 装 置		転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
電 源 コードの長さ		2.2m
付 属 品		デロンギ・エコカバー

※外形寸法および重さの各数値は、キャスターを開いた状態のものです。



 **デロンギ・ジャパン株式会社**

本 社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)